

(川崎さん)

あと皆さんご意見あったら。

(小林さん)

全国的にこれは議題にあがっているのですね。本当に避難、日本中どこでも災害が起こりうるので、努力義務でも計画を立てる必要がある、と思うのです。この人が一緒に逃げられるサポートを誰がするか、という計画を立てて、本人がちゃんと自覚していない、といけませんし、双方が自覚していない、といけませんね。

私が思うのは、計画を立てたら、本当にそれで逃げられるのかを、繰り返し繰り返し行って、こういう状況の時は逃げられるけど、こんな状況の時は助けに行けなかった。そしたら、じゃあ、誰が助けに行くのだろう。地震の時は良かったけど、水害が来たら駄目だったとか。そういう時は、どうしたら良いんだろうと。計画を更新していくことが必要だと思うのです。

この話を「理想論でしょ」と言われることがあるのですが、台湾が昨年4月に地震があったのですが、被害にあった人が少なく復興も早かった。それはなぜかという、これを繰り返し繰り返し、台湾はやっているんですって。月に1回は地区で避難の訓練をやっているんですって。だから、ものすごく日頃やっているから、いざという時もいい形で避難ができて、復興も早かった、ということなので、良いものは見習ってどんどん取り入れて、取り入れる中で、自分たちの地域にあった形に組み替えていくと言いますか、そういう対話を日頃からやっていくことが、必要じゃないかと強く思います。いかがでしょうか。